

2019年2月4日

摂南大学理工学部建築学科建築防災研究室

Designed by Fukunori Kawai

地域包括支援センター対象の『避難所運営訓練HUG』を実施しました！

日時：2018年11月17日(土) 13:30~15:30

場所：摂南大学寝屋川キャンパス12号館2階アクティブラーニング室

参加者：寝屋川市第二中学校区地域包括支援センター職員、とにかく明るい二中委員会委員(ケアマネージャー)、グループホーム職員(計16名)

ファシリテーター：理工学部生4回生4名 3回生8名、教員1名(計13名)

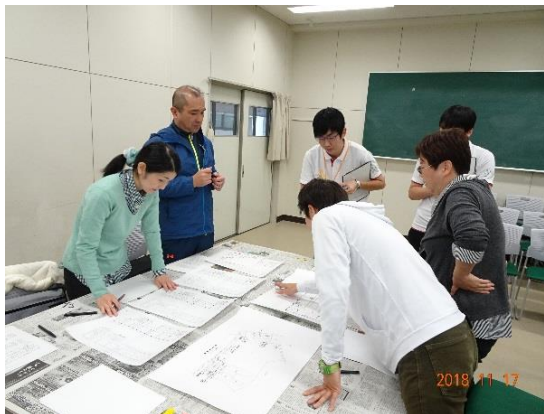
今回の見どころ

寝屋川市第二中学校区地域包括支援センター対象の避難所運営訓練HUG(ハグ)を実施しました。寝屋川市第二中学校区地域包括支援センターとは、介護・医療・保険・福祉などの側面から、寝屋川市第二中学校区内の住民の心身の健康および生活の安定のために必要な援助を行うことにより、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とした機関です。HUG(ハグ)とは、静岡県が開発した災害訓練で避難所を運営するゲームです。私は授業で何度かHUGを行ったことがあります。今回は準備を含め初めてファシリテーターとして参加しました。参加者の方々に災害時の避難所をいかに現実のここのように想像してもらえようかを意識して取り組みました。

プログラム実施風景



最初にHUGのルール説明や災害発生時の状況について、摂南大学学生から説明を行いました。



避難所の入り口を図面で確認し、通路の確保をしています。



被災者が避難してきました。仮設トイレの配置など避難者以外のことも瞬時に決めていかなければいけません。



避難者の居場所を決めていきます。次々から次へと避難者がやってきてパニック！



ゲーム中に感じたことについて発表がありました。「安否確認方法がわからない」などの不安の声が多かったです。



最後に池内先生が解説をしました。プールの水を使ってトイレの汚物を流す方法などの説明がありました。

プログラム実施結果

地域包括支援センターの方々には、普段から介護職に就いておられることもあり、チームワークが本当に良かったと思います。そのおかげで私たちも非常にスムーズに進行することができました。HUG後に「災害発生時について話し合いをしておく必要がある」、「センターの利用者様の行動を予測しておく必要がある」などの感想を頂きました。私はこれまでHUGを何度か体験しましたが、興味はあったものの、HUGから実際の災害時を現実のように想像することができていなかった事に気が付きました。しかし、今回、ファシリテーターとなり、介護の専門職の方々が見たりHUG後の感想を聞くうちに改めて「事前に災害時のことを想定して準備しておくことが重要」と感じました。と同時に「他の人に伝える」ことも重要だと感じ、家族にも伝えました。今後は家族以外の人にも伝えていこうと思います。

今回のプログラムにご参加頂いた寝屋川市第二中学校区地域包括支援センターの皆様、誠にありがとうございました。